

## 少人数教育科目群

少人数教育科目群には ILAS セミナーとして開講されている科目が含まれます。ILAS セミナーのうち、英語力の強化に資すると考えられるものは ILAS Seminar-E2、海外実地研修を含むものは ILAS セミナー（海外）と呼ばれます。

ILAS セミナーは次の 5 つの考え方に基づいて開講されています。

### ① 学びの違いを体験しよう

ILAS セミナーは、5 人～25 人程度の学生を対象に、各学部、研究科、研究所、センター等の教員が Face to Face の親密な人間関係の中で行う授業です。問題を見つけ解決するという学問のプロセスを、教育の場で体験するために少人数で行ない、講義による知識の伝達ではなく、学生が学問することを学びます。

### ② 学びの場における仲間との相互作用

ILAS セミナーの授業のテーマは様々です。シラバスからキーワードをいくつか拾ってみても、医療、言語教育、東洋史、日本近代文学、政治、社会学、過疎問題、地震、天文学、文化人類学、幸福、エネルギー需給、海洋生物等々、京大が丸ごとそこに現われています。テーマは様々ですが、自分で実際に考え、読み、議論し、書くということがどの科目でも求められます。そこから始まって、異なる学部、場合によっては異なる回生の仲間ができて、教員と学生、学生どうしの相互作用が実現します。

### ③ 常識や初歩からの跳躍

ILAS セミナーでは、基礎から順次学ぶという手順を踏むのではなく、少人数で教員と直接接するという特徴を生かして、学生の興味に応じた専門への道標が示されます。あるいは、初歩からの跳躍を経験することにより、学生が自分の進むべき方向を見つける機会ともなります。

### ④ 学びの技法の養成

ILAS セミナーにおける学生どうしの討論、教員の問いかけに答え、レポートを提出する訓練は、講義を聴き教科書を読むことからだけでは得られない、語る力、書く力を身につけるきっかけを与えます。

### ⑤ 挑戦の機会

専門に進む前の段階で、ここに述べてきたようなゼミナール形式の授業で、学生どうしの議論が真に機能するかは、特に 1 回生にとって簡単なことではありません。しかし、その難しさを挑戦ととらえ、そこに踏み込んでいくことは京大生となったあなたの特権です。ILAS セミナーに挑戦しましょう。科目によっては 2 回生以上にも門戸を開いています。積極的な履修を期待します。